

平成30年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成30年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センター	所管課	経済企画課
所在地	〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南一丁目2-7		
電話番号	(019) 638-1302	設立年月日	昭和55年9月2日
代表者	理事長 谷藤 裕明	<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	この法人は、勤労者の福祉を図り、労働力の確保と雇用の安定に資することを目的とする。		
主要事業	① 上記目的ののっとり設立された盛岡地区勤労者共同福祉センター施設の管理運営を行う。 ・福祉会館施設 ・催事場(大ホール)施設 ・体育館施設		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
<input type="checkbox"/> ある (アドレス http://)
<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法
施設のパンフレット, 同じ団地内にある協同組合のホームページでの当施設の紹介

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計
			うち市OB	うち市派遣		
役員	理事	0	0	0	6	6
	監事	0	0	0	2	2
	計	0	0	0	8	8
職員	管理職	正職員	1	0	0	1
		臨時職員	0	—		
	一般職	正職員	1	0	1	2
		臨時職員	0	—		
	計	正職員	2	0	0	1
臨時職員	0	—	—			
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	63	歳
常勤職員の給与体系						
<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(派遣元の給与体系による)						

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	1,000 千円	本市出資等額	800 千円	本市出資等割合	80.0 %
主な出資等者					/
① 盛岡市			(出資等割合	80 %)	
② 矢巾町			(出資等割合	20 %)	
③			(出資等割合	%)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成30年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円		(収入全体の	%)
	負担金・交付金	0 千円		(収入全体の	%)
	委託料	0 千円		(収入全体の	%)
	指定管理料	0 千円		(収入全体の	%)
	貸付金	0 千円		(収入全体の	%)
補助金内訳					
①			(平成30年度予算額	千円)	
②			(平成30年度予算額	千円)	
③			(平成30年度予算額	千円)	
負担金・交付金内訳					
①			(平成30年度予算額	千円)	
②			(平成30年度予算額	千円)	
委託料内訳					
①			(平成30年度予算額	千円)	
②			(平成30年度予算額	千円)	
指定管理料内訳					
①			(平成30年度予算額	千円)	
②			(平成30年度予算額	千円)	
③			(平成30年度予算額	千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)		利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設 がある場合記入)	
			利用料金収入(平成30年度予算額	21,160	千円
			法人の収入全体の	70.53	%

5 指定管理者となっている公の施設(現在, 公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	矢巾勤労者共同福祉センター(福祉会館)
-------	---------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度
①		計画			
		実績			
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。
 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総収入	45,883	37,858	44,824
当期収入(A)	41,365	30,878	39,728
基本財産運用収入	0	0	
会費収入(入会金収入を含む)	0	0	
補助金等収入	4,169	4,169	3,984
うち市からの補助金等(B)	0	0	
事業収入(C)	36,902	26,285	29,778
うち自主事業収入	36,902	26,285	29,778
うち市からの委託料(D)	0	0	0
うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
繰入金収入	0	0	0
市からの借入金	0	0	0
その他の収入	294	424	5,966
前期繰越額	4,518	6,980	5,096
総支出	38,903	32,762	37,883
当期支出	38,903	32,762	37,883
人件費	10,368	10,368	10,368
事業費(人件費除く)	22,655	13,760	19,489
管理費(人件費除く)	1,880	1,634	1,826
資産取得支出	0	0	
繰入金支出	0	0	
その他の支出	4,000	7,000	6,200

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
収支の状況	当期収支差額	2,462	-1,884	1,845
	次期繰越収支差額	6,980	5,096	6,941
正味財産の状況	経常収益(F)	41,364	30,879	34,028
	経常費用	38,903	32,762	37,883
	当期経常増減額	2,461	-1,883	-3,855
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
財産の状況	資産(G)	86,466	88,608	87,058
	うち固定資産	78,991	83,023	79,511
	うち流動資産(H)	7,475	5,585	7,547
	負債	495	490	606
	うち固定負債	0	0	0
	うち流動負債(I)	495	490	606
	正味財産(J)	85,970	88,118	87,664
	うち当期正味財産増減額	-7,210	2,148	-454
財務指標	流動比率(H/I)	1,510.1	1,139.7	1,245.3
	自己資本比率(J/G)	99.4	99.4	100.6
	職員一人当たり収益高(F/(K+ 当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	13,788.0	10,293.0	11,342.7
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/O)	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0	
組織の状況	常勤役員数(K)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	3	3	3
	うち常勤職員数	2	2	2
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0	0	0
	管理職員比率	33.3	33.3	33.3
事業指標	職員新規採用数	0	0	0
	うち常勤職員数	0	0	0
	① 催事場の利用収入	18,222	18,262	20,765
	② 福社会館の利用収入	6,733	5,943	6,683
	③ 体育館の利用収入	1,947	2,081	2,329
④				

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	①			
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
損失補償額				
債務保証額				

平成29年度決算の概要

施設利用の状況は共同福祉施設、大ホール、体育館の3施設とも利用が増加し、全体では前年より約349万円多い29,778,770円となった。

施設別に利用状況を見ると矢巾町から管理委託を受けている共同福祉施設は、利用件数は前年比47件減の595件、利用料収入は前年比12.5%増の6,683,770円、大ホールは利用件数は前年比11件増の132件、利用料収入は前年比13.7%増の20,765,480円、体育館は利用件数は前年比88件増の728件、利用料収入は前年比12.0%増の2,329,520円となった。支出については、冬場の雪が多かったため、除排雪に費用がかかり、電気料も増加した。また、キュービクル更新工事等を行った結果、全体の支出は37,883,366円となった。次年度への繰越は前年度と比較して約185万円増の6,940,778円となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

A	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) 平成29年度においても黒字であり、累積欠損金も無い。補助金以外の自主財源を持っており財務状況は良好である。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成28年度決算において黒字である。	○	
2	平成29年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。	○	
4	平成29年度決算において減価償却前黒字である。	/	/
5	事業計画どおりの償却前赤字である。	/	/
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	/	/
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。	/	/
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。	/	/
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。	/	/

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」

